

ひきこもり家族自助会とやま大地の会(設立 2001 年 3 月)

振込先 北陸労働金庫 富山南支店 普通 3414428 とやま大地の会

♪♪ 例会のおしらせ ♪♪



例会は、ミニ講演やグループでの分かち合いの場です。また個別相談会（希望者）も行っています。新型コロナ対策のため、実施について変更可能性もありますので、ご参加を希望される方は、本会のホームページでの確認をお願いします。

08 月 20 日（第 3 土曜日） 第 258 回例会 13：30 富山市安住町サンシップとやま 701 号室
09 月 17 日（第 3 土曜日） 第 259 回例会 13：30 富山市安住町サンシップとやま 701 号室
10 月 15 日（第 3 土曜日） 第 260 回例会 13：30 富山市安住町サンシップとやま 601 号室
ミニ講演 岩手県の佐々木さん（IV項に補足記載）
11 月 26 日（第 4 土曜日） 第 261 回例会 9：30 富山市安住町サンシップとやま 601 号室

会費 正会員の 2021 年度からの年会費は 2,000 円。例会参加費無料。（振込料は各自負担です。）
非会員の方の、2021 年度からの例会参加費 200 円です。

サンシップでは駐車券を 2 階事務所にし、「大地の会」とおっしゃってください。無料になります。
サンフォルテでは駐車券を 1 階受付にし、「大地の会」とおっしゃってください。1 時間無料になります。
◎富山県ひきこもり地域支援センター、最寄りの厚生センター、保健所で相談をしましょう。適切な支援に繋がるよう力を借ります。
◎支援センターに希望すること、親に出来ることを常時募集しています。
◎ご相談があれば、大地の会のホームページからお問い合わせ下さい。

「とやま大地の会」のホームページですが、下記 URL で開設しています。ご覧ください。

<http://toyamadaichinokai.com/>

本会の各事業は、富山県、赤い羽根共同募金の助成を受けて実施しています。

♪ 7 月例会報告 ♪

日 時：7 月 16（土）13:30～16:00 サンシップとやま 601 号室

参加者：22 名（男性 8 名 {内体験者 1 名}、女性 14 名 {内体験者 1 名}）のご参加がありました。

例会が始まる前には、Hさんのハーモニカ演奏を聴きました。コロナ禍で声を出さず皆さんで 暑い日々の中 “言葉に涼しさ”を感じながら “聴き”ました。

曲は『浜千鳥』と『海』と『ふるさとの空（富山県民の歌）』でした。

I 挨拶（山岡代表）

暑い中、参加していただき有難うございます。今日もTさんの手づくりのお菓子の差し入れがありました。美味しくいただきます。Tさんのお母さまは2001年に大地の会を設立されましたが、国際ボランティア活動にも取り組まれました。会報『花無心』今月号で紹介しますが、「幸せに生きましょう。困ったら助けてもらいましょう。」と結ばれています。

II 体験発表 会員のNさん

子が不登校に

20年位前に、子が学校に行けなくなった。不登校の言葉が浸透してない時代、学校の先生は厳しかった。「医者で診てもらえ、3日以上は休ませるな」など。それで車で無理やり連れて行った。今は、子には申し訳ないことをしたと思います。

相談所等では、

スクールカウンセラーからは、お母さんの笑顔がないと子は良くならないと言われ、手を変えあらゆることを子にしていました。子がちょっと元気そうになると、「学校へ行こうか？」と言ひ、当時私は、そういう人でした。私も眠れない日が続きました。

大地の会に参加して

全てからダメ出しされていた時期に、大地の会に参加し、代表のIさんから「お母さん、あなたのせいではないですよ」と言われ救われました。大地の会では本音を言ひ、泣いても良く、胸にあるものを言え有難かった。また皆さんの体験を聴きエネルギーをいただきました。会の帰路の電車の中で、もう一度頑張ってみようと思ひました、

ある時、隣県で参加した会で、今、自分に声掛けして欲しい言葉を3つ書き、それを隣の人に言ってもらいましょうという行事がありました。私は、「頑張るってね」「大丈夫」「一人でないよ」と書きました。それを隣の人に言ってもらったら、涙が止まりませんでした。帰路の電車では、私は穏やかな気持ちになり、これが、息子が私に言って欲しい言葉ではと気が付き、「一人ぼっちに耐え、死なないでくれてありがとう」と息子に伝えました。それからしばらくして、息子は口をきいてくれるようになりました。口をきいてくれたことに、私は泣けて泣けてでした。

今は、私自身が、“楽しくて・嬉しくて・美味しくて”を堪能しています。



Ⅲ いつもの話し合い 今回は全体で、Nさん体験発表の感想を含め話し合ひました。

- ・絶対に見離さない、味方である、忘れちゃいけないことだなと思ひました。
- ・明日のことは分からない。違う生き方でも認めてくれる社会であつたらいい。
- ・これから先のことは分からないけど、自分なりに生きていきたいなと思ひました。
- ・「目の前にあることが確かなことだ」と思ひました。
- ・息子の心、夫の心を責めていた。いつか分かるだろうという思ひ込みの強さがあつた。細やかに人の気持ちを気遣いたいな。
- ・大地の会に参加し、思つたことは多くある。貴重なお話を聞いて自分事としていきたい。
- ・人間関係で仕事を辞めて、コロナ禍で外出できなくなった。2次障害だと感じている。
- ・50歳、60歳になり、不自由になっていく。親亡き後を支援していく制度をしっかりとしてほしい。
- ・(当事者)今は元気であるけど、治つたと思つてなくて、またひきこもりに戻らないという保証がない。たくさんの人にお世話になつた自分がある。今までの生き方、将来像、逆に分からない分、楽しみだなと思う。普通と違つて、普通と違つてからこそ出来ることがある。
- ・家族以外に信頼できる人がいる。「苦しさをわかるよ」と、一人でも応援したい。ここに来るたびそう思う。
- ・親としてではなく、「一人の人間として見守る」ことだと思つた。
- ・見ているだけ、そばにいるだけ、一緒に楽しみたい。
- ・「言葉ひとつが人を変える」ことがあるのだと感じた。
- ・家を出ることができなくなつて、体が動かない。「焦るな」と言われるが、良くなつているようには思えない。

Ⅳ ミニ講演・体験発表の予定

10月例会(10月15日)岩手県の佐々木さんによるミニ講演

佐々木さんには本会の運営委員の二人が、それぞれ、県外で開催された、不登校やひきこもりに関する全国交流集会でお会ひし、お人柄とお話の内容に、いつか富山にお招きしたいと話し合つてきました。佐々木さんのプロフィールや講演題など、9月号でご紹介します。

Ⅴ その他

1 例会ではなかなか十分に自分の話が出来ない。言ひ足りないことなど。日常の

あゆみなど体験発表をしてみませんか?約20分間程度を予定しています。

2 投稿欄について

会員の皆さまから、“ひきこもりの理解”に関する本の紹介や講演の感想等、募集しています。

富山県ひきこもり地域支援センター からのお知らせ

相談時間：月曜日～金曜日 8:30～12:00、13:00～17:00（要予約）

グループ相談を実施しています。

- ・本人グループ 毎週火曜日 10:00～12:00
- ・親グループ 毎月第2木曜日 14:00～16:00

まずはお電話でご相談ください。電話：076-428-0616

場所：富山県心の健康センター内 〒939-8222 富山市蜷川 459-1

VI つくしの会より（2003年設立）

市内2カ所で開催し、今はコロナ感染予防を徹底の上、主に話し合い中心の月例会と定例会を行っています。気候やコロナ関係などで、予定変更の場合もありますが、ご了承下さい。

高岡つくしの会の 8月の予定は

月例会 8月21日（日）13:30～ 場所 高岡市博労公民館にて

おとぎの森定例会

8月10日（水）、8月24日（水）、8月27日（土）

14:00～16:00 おとぎの森公園内ふれあい館にて

家族を中心に、当事者、協力者、賛同者の方々の参加で連携を図っています。

初めての方も歓迎します。

※どの例会も、コロナ対策にご協力をお願いします。（体温測定、手指消毒、連絡先明記）



VII 書籍の紹介

『NPOが動く とやまが動く』とやまNPO研究会 編 2012年 桂書房

295頁 「ボランティアは、体張って、身銭切って。」

121頁 市民団体「社会的ひきこもり家族自助会とやま大地の会」

今回、紹介する本は、サンシップとやま図書室や県内の公立図書館にあります。2001年にとやま大地の会の立ち上げに尽力された、Iさんによる執筆やインタビューにより上記の2頁が記載されています。Iさんは、1997年に「NGO フィリピンの子供を支える会」を設立し、代表を務めました。

295頁の終わりに、今、市民の皆さんに呼びかけたいことは？と問われ、

「幸せに生きましょう。困ったら助けてもらいましょう。」と、答えています。

現在、大人にも子どもにも必要な力として、周囲の助けてもらえそうな人たちに救いを求める能力（援助希求能力）を身に付けることの必要性が言われています。

Iさんが、笑顔で、「幸せに生きましょう。困ったら助けてもらいましょう！」と、私たちに語りかけてくれているように感じます。（やまおか）